



平成 28 年 12 月 21 日発行
京都府丹後保健所 企画調整室
(丹後地域包括ケア推進ネット)

1. 平成 28 年度の啓発活動について (中間報告)

今年度も 5 月 28 日(土)の「かがやきの杜仲間の手しごと展」での活動を皮切りに、12 月 21 日(水)までに計 23 回約 2500 名に対して啓発活動が行われました。これは昨年度を上回るペースです。

実施日	5月28日	6月14日	6月21日	7月19日	7月24日	7月27日	7月28日	7月31日	8月6日	8月19日	9月11日
活動名称	かがやきの杜仲間の手しごと展	久美浜高校認知症啓発活動	久美浜高校認知症啓発活動	FM たんごでの啓発	海山園夏祭り	みんなのうち加悦奥サロン夏祭り	新山地区認知症サポート一養成講座	弥栄病院ふれあい祭	夏の認知症セミナー	FM 丹後での啓発	弥栄はごろも苑ふれあい祭り
啓発人数	50名	36名	36名	-	500名	50名	38名	200名	200名	-	60名
啓発内容	紙芝居、リーフレット・マスク・ティッシュ配布	講義(声かけ体験)他	講義(声かけ体験)他	オレンジロードつなげ隊の紹介・活動について	リーフレット配布	リーフレット配布	寸劇、リーフレット配布	認知症カフェでのリーフレット配布	声かけ体験、デジタル紙芝居、O×クイズ	アルツハイマーデーの啓発	リーフレット配布
つなげ隊	5名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	2名	事前準備含め22名	2名	2名
他従事者	久美浜苑、通所リハ、居宅スタッフ	-	-	-	久美浜高校、網野高校、峰山高校の生徒8名	-	はごろも苑職員	満寿園職員	-	-	-

実施日	9月18日	9月19日	9月25日	10月30日	11月6日	11月6日	11月13日	11月20日	11月19,20日	11月25日	11月25日	12月7日
活動名称	丹後グルメフェスティバル	丹後グルメフェスティバル	さかいの家秋祭り	かがやきの杜ふれあいフェスタ	久美浜病院まつり	養老地区文化祭	府中地区文化祭	日置地区文化祭	峰山町西地区文化祭	はごろも苑施設オープンデー	加悦奥老人会婦人部主催お楽しみ会	地域包括ケア実践交流会「お気軽サミット in 丹後」
啓発人数	350名	120名	50名	100名	150名	150名	84名	85名	130名	120名	30名	100名
啓発内容	リーフレット・ティッシュ配布、パネル展示	リーフレット・ティッシュ配布、パネル展示	リーフレット・ティッシュ配布	紙芝居、リーフレット・ティッシュ配布(+若年性)	デジタル紙芝居、リーフレット・マスク・ティッシュ配布(+若年性)	リーフレット・マスク配布	リーフレット・マスク配布	リーフレット・マスク配布	リーフレット・ティッシュ配布	リーフレット・ティッシュ配布	リーフレット・マスク配布	デジタル紙芝居、認知症模擬カフェ、リーフレット配布
つなげ隊	5名	1名	1名	8名	8名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	11名
他従事者	保健所職員2名	保健所職員2名	施設長	-	-	GH せいらん職員	GH せいらん職員	GH せいらん職員	はごろも苑、さかいの家、ないきの家職員	-	-	-

「京都認知症あんしんナビ」のオレンジロードつなげ隊ブログへの掲載も順調で、丹後が一番多くなっています。

また、今年度初めての試みとして、FM ラジオを活用した啓発活動(放送)や、グルメフェスティバルといった認知症には直接関連の無いイベントで、子供連れの若年層等への幅広い啓発活動を行いました。

さらに、「デジタル紙芝居」や「認知症O×クイズ」なども初めての取組として、各種イベントで行い、大変好評でしたので今後も継続して行くこととしております。





啓発活動を行った隊員の声

- ❑ 紙芝居を多くの方々に見ていただけた。子供たちだけでなく、大人の方々も真剣に見てくださり、認知症の方の思い、そのご家族の思いを少しは伝えることができたと感じる。
- ❑ 中学校で認知症キャラバンメイトの受講が既に終了していたことから、全く知らない内容ではなかったようです。
- ❑ ラジオのパーソナリティ（つなげ隊員）がうまく指導、進行してくださり、つなげ隊の活動や認知症セミナーの紹介が行えた。大変緊張したが、良い経験を積むことができた。
- ❑ 高校生8名が正面入口で、入場者に対する啓発活動としてリーフレットの配布を行った。昨年、中学生で参加してもらったメンバーもあり、声かけもスムーズに実施できた。のぼりも目立って良かった。
- ❑ 配布したリーフレットを見ながら、うなずいておられる様子うかがえた。
- ❑ 健康チェックコーナーで順番待ちをしておられる方々に声かけし、リーフレットを見ながら認知症について説明した。待ち時間を利用して話を聞いていただけた。中には「今日は認知症について教えていただけるんですね」と、積極的に声をかけていただいた方もあり、その姿勢に感服した。認知症カフェとセットで実施したことで、くつろいでいただくスペースもあり、和やかな雰囲気となった。
- ❑ 自主的な活動として広く府民の方に認知された。新たな試みとして、デジタル紙芝居や〇×クイズなど企画から携わり、今後、新たな啓発ツールとしてさらなる活躍が期待される。来場者アンケートから、つなげ隊の活動の評価も良く、活動を周知できたと感じている。認知症の症状には個人差があり、それらを私自身理解しきれていない部分もあるが、そんなことも含めて認知症の啓発をしていければ…と思った。
- ❑ グルメイベントであり、お昼をめぐって来場される方に、認知症ブースの紹介もしながらティッシュを配布した。若い方や子連れの方も多く、認知症には関心のない層にも声を掛けられたのが良かった。認知症のブースでは、介護を実際にされている方や60代以降の方が認知症予防について関心を持ち、立ち寄りられるといった場面が見られた。相談コーナーや物忘れチェックの体験コーナーがあっても良かったのではないかと感じた。
- ❑ 啓発活動が目的ではあるが、声かけをした方からは「まだまだなりたくないから良いです」とのコメントに、人それぞれの受け止め方があることを再確認した。ひたすら地道な活動を重ねることが地域で支える仕組み作りの一歩になるのではないかと感じた。
- ❑ 地域の方に話を聞いていただけて良かった。イベント自体に手が取られてしまったので、今後は他の部署のつなげ隊員に協力を求めている。
- ❑ 秋祭りに来られた地域の方、家族の方に、地域で認知症の方を支援していくために協力していただきたい、と伝えながら啓発活動を行うことができた。イベントに来られなかった家族の方には、後日リーフレットをお渡しすることとした。
- ❑ 横断幕で「オレンジロードつなげ隊」を紹介することができ、良い周知活動になった。
- ❑ 認知症カフェの広報活動とともに認知症のパンフレットとティッシュの配布等の啓発活動を行った。

などなど、大変やりがいを感じておられる言葉ばかりでした。